

あまから手帖 2026 年 1 月号「天満はどこだ。」を

12 月 23 日に発売いたします。

2025 年 12 月



Daigas グループのクリエテ関西が、あまから手帖 2026 年 1 月号「天満はどこだ。」を 12 月 23 日、発売いたします。

クリスマスイブの前日に発売される 2026 年 1 月号は、天満特集。

タイトルは「天満」ですが、JR 天満駅を中心に、天神橋筋六丁目駅、扇町駅、南森町駅、大阪天満宮駅周辺など、広範囲をカバーします。飲食店激戦区である天満界限で 10 年続く酒場、師匠と弟子が紡ぐなにわ料理、フレンチ、イタリアン、カレーやラーメンなど、ジャンルレスに、注目すべき店、愛すべき店、街と人と店の物語をお届け。また 20 周年を迎える天満天神繫昌亭と桂二葉さんも 2 年ぶりにご登場いただきます。

また、連載では新しい企画が 4 本もスタート。ハレもケも、朝から晩まで楽しい街、天満界限の情報と読み応えのある連載企画で、年末年始をごきげんに！

〈特集構成〉

- 原色二葉図鑑
- この街で、十年。
- 「有」と「さと有」
- こすだ イズ オンリー イリュージョン。
- 南森町の朝と昼。
- やがて嬉しき天神橋筋。
- 天六ラビリンス美味漂流
- 愛と幻想の天満界限

■テンマサカグラフィティ。

<連載>

■作家・町田康の「食にかまけず」

■写真家・長野陽一の「あま、から。」

■料理研究家・冷水希三子の「からから料理帖」

■フードコラムニスト・門上武司の「関西『揚げもん』研究所」

■マスターソムリエ・岡 昌治の「日本ワイン、ようわからん」

■ミルクボーイ・駒場 孝の「こまから手帖」

■作詞家・松本隆の「びゅーちふる・でい」（新連載）

■酒場ライター・バッキ―井上の「手負いの手練れが足掻く旅」（新連載）

■ウェスト・サイド・ストーリーズ（新連載）

■100 人の料理人（新連載）

ほか

<媒体概要>

「あまから手帖」は関西の食文化・情報を伝える雑誌として 30 代後半～50 代の方を中心に
ご好評いただいております。

誌名：あまから手帖 発売日：毎月 23 日 発行部数：10 万部

販売方法：書店・駅売店・コンビニエンスストア（一部）

販売地域：関西地域および全国の主要都市（一部） 価格：880 円（予価）

※本誌に関するお問い合わせは下記までお願いできましたら幸いです。

※各種取材、メディア出演にもご対応いたします。